

入新井歴史散歩マップ



歌川広重「名所江戸百景 八景坂鐘掛松」安政3(1856)年 提供:大田区立郷土博物館

『八景坂 鐘掛松 (はっけいざか・よろいかけまつ)』
後三年の役(永保3(1083)年～)の奥州征伐に、源義家が鐘を掛けた伝説の松の3代目の切り株(直径50cm、円周160cm、年輪254)は一見の価値あり。旅人や馬子が行きかう坂道は、現在の大森駅中央改札西口の池上通り(八景坂)です。

入新井地区地名の由来

明治22(1889)年、町村制施行に伴い、不入斗(いりやまず)村、新井宿村が合併して入新井村が発足した。不入斗の名称には、諸説あるが年貢免除の由来もある。この地域にある山王遺跡は、区内でも大きな遺跡である。また大森貝墟の石碑があり、考古学発祥の地として歴史と文化の香る地域である。

大森駅の誕生(明治9年開業)



大森駅西口(山王口) 大田区立郷土博物館蔵

明治9(1876)年開業以来、古来の街道である池上通りを挟んで山王台地側は住宅地として、海側は商工業地域として発展してきた。乗車客約7万人の駅(2022年時点)。縄文土器のレプリカがホームに設置されている。駅ビルRaRaのところに八景坂鐘掛松があった(表紙の歌川広重の浮世絵)。同ビル出口右に大森貝墟の碑文がある。



大森駅東口 大田区立郷土博物館蔵

歴史にふれあい文化を知る 愛しき街 入新井 入新井歴史散歩マップ

令和6(2024)年12月発行

入新井地区自治会連合会

入新井歴史散歩マップ作成委員会

事務局 大田区入新井特別出張所

〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目10番14号
TEL 03-3761-5303

マップ制作 NPO法人 大森まちづくりカフェ

©大田区入新井特別出張所

☆ 大森貝塚入口

駅前の池上通りを北に向かう。「A大森貝墟碑」にはこの案内を右に曲がりJR線路際まで行く。



B

「B圓能寺・鶴墳」へは、池上通りに戻って信号を渡る。左角の美容院、さらに薬局を過ぎて左側に本堂の屋根が見える。本堂の左奥の墓地の中ほどに「鶴墳」がある。「C日枝神社」へは池上通りを南に戻る。圓能寺の隣。

D 『中世道路跡発見の地』説明板

池上通りは古代より東北と関西を結ぶ重要な街道であった。発掘調査では古代、中世の道路状遺構や溝状が発見された。



(平成15年3月撮影)

G 蘇峰公園・山王草堂記念館

ジャーナリスト徳富蘇峰は初の総合雑誌を発行し、絵画、多くの著名人からの書簡を展示。カタルパの名木等、散策にも人気がある。無料・年末年始休館。



蘇峰公園よりジャーマン通りの信号を渡り、梅の木通りを行き弁天池へ向かう。

H

J 山王公園(大森ホテル跡)

大森ホテルは大正11(1922)年にバンガロー形式の新築施設として開業。海外からの客人や、川端康成が原稿執筆でも滞在。現在は山王公園として、人々の憩いの場となっている。



C 日枝神社・古道



近江国日吉大社の祭神山王権現を勧請した神社で山王の地名の由来になった社。庚申塔には「左まこめ道」「右なかのふめくろ道」が刻まれた道標もある。椎の巨木に歴史を感じる社。

E 山王小学校 門柱『羊のレリーフ』

明治期に外務・内務大臣で活躍した井上馨の別荘跡地に大正14(1925)年に創立した小学校。旧正門には巨木の桜があり、門柱の羊レリーフは、土地を提供してくれた同侯爵の干支に因んだもの。門柱の脇に建つ二宮尊徳像の台座には清浦奎吾の書「進徳修業」が刻まれている。



I 弁天池・山王花清水公園

弁天池児童遊園を併設し、木原山の大地から今でも湧く清水。池の左側から坂を上って山王公園へ。



☆ 山王遺跡・八景園・マミフラワーデザインスクール

梅の名所「八景園」は明治17(1884)年、八景坂上の約一万坪の土地に開園し、大正末期に閉園。広大な跡地は住宅地として分譲され、再開発の過程で弥生時代からの住居跡が見つかった。山王公園から天祖神社に至る道筋には高級住宅などが立ち並び、神社のすぐ手前には岡本太郎のデザインを残した現代フラワー・アートのマミフラワーデザインスクールがある。



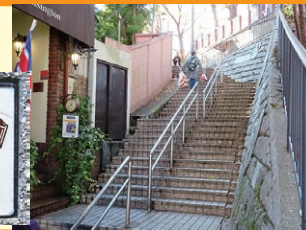
M 清浦さんの坂

第23代内閣総理大臣清浦奎吾の住居前の坂で、国への貢献やその人柄に親しみを込め、「清浦さんの坂」と呼んでいた。ここから大森駅中央改札西口に戻る。



☆ 馬込文士村入り口

大正から昭和にかけ文士、画家が山王、馬込に住み交流。玄関口が天祖神社脇の階段であった。数々のレリーフを見て散策を。



a ミルパ商店街

昭和62(1987)年に大森銀座商店街の愛称を「Milpaミルパ」と決定した。MilpaはMill Parkの略語で、古くは大森停車場前通りと呼ばれ、そぞろ歩く公園(広場)との意味。



d 清花公園



g 最徳寺



文暦元(1234)年鎌倉にて開山したと伝えられ、徳川家康の関東入国後に当地へ移転したといわれる。

i 穀豊稲荷神社

慶応2(1866)年に建立の小祠。不入斗村の穀物の豊穰などを願う祭神「倉稲詔命」を祀る。当時、地域は谷熊と呼ばれ、標柱の裏にも谷熊と刻まれている。



m 根岸神社

昭和9(1934)年、鉄道敷設により新井宿村から入新井村に移動した。根岸の里から根岸神社と名付けられ、行徳浅子周慶の神輿は知られる。面足命・惶根命(神世七代のうち第六代に当たる神)で、男神・女神を祀る社は珍しい。



b おおとりじんじゃ 鷲神社



日本武尊を祀る。石碑の揮毫は清浦奎吾第23代総理大臣。例年11月の酉の日に祭礼を行う。

h 東貫森稲荷神社

徳川時代の流行神起。蒼稲魂命(穀物の神)を祀る。境内には、江戸期の大きな力石が置かれている。



k 不入斗東伏見稲荷神社



五穀と食物を司る祭り神、宇迦之御魂命を祀り、関東大震災前の石造明神型(朱塗)鳥居が残る。

n 入新井西公園

貴婦人の愛称をもつSLがあり、平日と土日祝日ともに12時と15時に動輪が5分間稼働し、汽笛が鳴る。また、子ども向けの自転車などを貸出ている。

